

北播磨地域ビジョン 2020 “ひょうごのハートランド”をめざして

1 点検・見直し

背景

- ・ 少子・高齢化など時代潮流の変化は、ビジョン策定時の想定を上回る早さで変貌、これに伴う様々な地域課題が顕在化
- ・ 地域づくり活動の中で、目指すべき北播磨の姿や新たに対応すべき課題が明確化

視点

- ・ 北播磨の魅力ある地域資源、構造、交通、気候、風土などを十分活かし、「北播磨らしさ」を発揮させる。
- ・ すべての地域住民が将来像・目標を共有し、その達成に向け、活動を推進していくために、様々な主体の取組を促す。

2 将来像

ひょうごのハートランド

ハートランドとは、
中原の地 中央の地、豊かな地 動と静の交わる場所 - 心臓 - 交通と文化が交わる地域
志(こころざし)の集まる地域 能動的な営みと夢や願いを持った人が集まる地域

【5つの地域像】

地域像1 交流が広がる

「まちむら交流」で活力を育む地域

交流資源を全面に押し出し、その価値を高めることにより、都市・地域間の交流人口が拡大し、交流による元気づくりを進める。

地域像2 生活(くらし)の絆が深まる

家族・地域・生活(くらし)の絆を深めるとともに、絆の力で安全・安心を支える地域

「家族の絆」「地域の絆」「生活(くらし)の絆」をますます深め、より安全・安心に満ちた社会づくりに取り組む。

地域に潜在する専門知識・技術を有する人材のネットワーク化を図り、北播磨の未来を担う人づくりを推進する。

地域を挙げて一人暮らし高齢者や子どもへの声かけ、見守りを行う。

地域像3 文化が花開く

芸術・文化を暮らしに活かす地域

伝統文化や地域の歴史が子どもたちに継承され、郷土愛に満ちた地域で、音楽・芸術家と支援グループが活躍し、文化的で質の高い生活をめざす。

地域像 4 恵み豊かな環境が持続する

北播磨が持つ豊かな自然・生態系の調和した暮らしが持続する地域

地域住民の環境意識をますます高め、自然環境の保全や森づくりへの取組を継続的に行い、豊かな自然・生態系の調和した暮らしを守る。

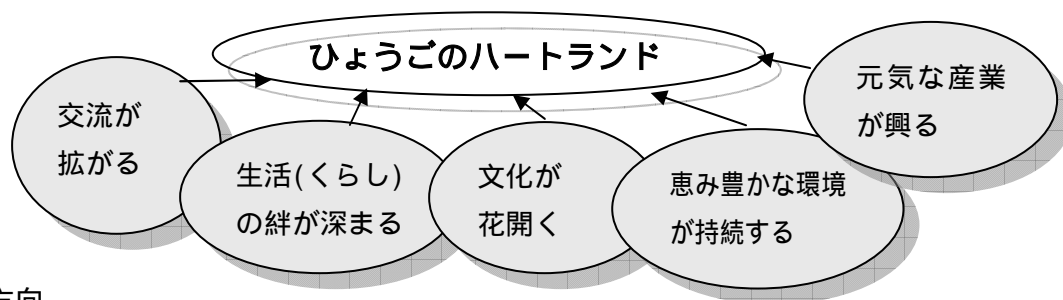
地域像 5 元気な産業が興る

多様な産業が活性化し、だれもが生きがいを持って働ける地域

地場産業の元気を取り戻し、新産業を創造し、希望に満ちた若者の就労をめざす。

北播磨が食料供給基地としての機能を果たし、地域住民に地産地消が浸透し、元気な農家による食の企業化を推進する。

“ひょうごのハートランド”をめざして



3 取組方向

| 地域像 | 取組方向 |
|---------------|----------------------------|
| 交流が広がる | 1 都市との交流の拡大 |
| | 2 公共交通の利用促進 |
| 生活(くらし)の絆が深まる | 3 助け合い・支え合い地域システムの構築 |
| | 4 地域で高齢者見守り |
| | 5 地域で子育て、未来を担う人づくり |
| | 6 地域医療、防災、防犯の取組の強化 |
| | 7 命の教育、健康づくりの推進 |
| 文化が花開く | 8 伝統文化の継承 |
| | 9 地域の音楽・芸術家と活動支援グループの活性化 |
| | 10 歴史の伝承 |
| 恵み豊かな環境が持続する | 11 ため池、水田、森の生物が元気に暮らす環境づくり |
| | 12 生き生きとした北播磨の森づくり |
| | 13 環境に負荷をかけない新エネルギーの活用 |
| | 14 ゼロエミッションの推進 |
| 元気な産業が興る | 15 地場産業の活性化、地場産品の高付加価値化 |
| | 16 新たな「しごと・働く場」づくり |
| | 17 未来を拓く「農」づくり |
| | 18 健康を育む「食」の普及 |

